

七 法第十七条の三十六第四項第八号ハの介護予防サービスの種類が介護予防短期入所療養介護である場合には、次に掲げる事項

イ(二) (略)

ホ 当該介護予防サービスを行う事業所(当該事業を行う部分に限る)における入院患者又は入所者の定員

ヘ(イ)又 (略)

ハ 法第十七条の三十六第四項第八号ハの介護予防サービスの種類が介護予防特定施設入居者生活介護である場合には、次に掲げる事項

イ(イ) (略)

又 指定介護予防サービス等基準第二百四十二条第一項に規定する協力医療機関の名称及び診療科名並びに当該協力医療機関との契約の内容(同条第七項に規定する協力歯科医療機関があるときは、その名称及び当該協力歯科医療機関との契約の内容を含む)

附則

(施行期日)

第一条 この省令は、令和六年四月一日から施行する。ただし、第二条、第六条、第十六条及び第二十条並びに附則第七条の規定は、同年六月一日から施行する。

第二条 (重要事項の揭示に係る経過措置)

この省令の施行の日から令和七年三月三十一日までの間は、第一条の規定による改正後の指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準(以下「新居宅サービス等基準」という。第三十二条第三項(新居宅サービス等基準第三十九条の三、第四十三条、第五十四条、第五十八条、第七十四条、第八十三条、第九十一条、第九十五条、第九十九条、第一百零九条、第一百四十一条、第一百四十二条及び第九十二条の十二において準用する場合を含む)の規定の適用については、同項中「指定訪問介護事業者は、原則として、重要事項をウェブサイトに掲載しなければならない」とあるのは「削除」と、新居宅サービス等基準第二百六条及び第二百六十六条において準用する場合を含む)の規定の適用については、同項中「指定福祉用具貸与事業者は、原則として、重要事項をウェブサイトに掲載しなければならない」とあるのは「削除」と、第三条の規定による改正後の指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準(以下「新指定居宅介護支援等基準」という。第二十条第二項(新指定居宅介護支援等基準第三十条において準用する場合を含む)の規定の適用については、同項中「指定定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者は、原則として、重要事項をウェブサイトに掲載しなければならない」とあるのは「削除」と、第四十条の十六、第六十一条、第八十一条、第八十八条、第九十一条、第九十三条、第九十九条、第一百零九条、第一百四十一条、第一百四十二条及び第九十二条の十二において準用する場合を含む)の規定の適用については、同項中「指定定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者は、原則として、重要事項をウェブサイトに掲載しなければならない」とあるのは「削除」と、第五十五条の規定による改正後の指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準(以下「新介護予防サービス等基準」という。第五十三条の四第三項(新介護予防サービス等基準第六十一条、第七十四条、第八十四条、第九十三条、第九十九条、第一百零九条、第一百四十一条、第一百四十二条及び第九十二条の十二において準用する場合を含む)の規定の適用については、同項中「指定訪問介護事業者は、原則として、重要事項をウェブサイトに掲載しなければならない」とあるのは「削除」と、第七十七条の規定による改正後の指定介護予防支援等基準第三十二条において準用する(以下「新介護予防サービス等基準」という。第三十二条第三項(新居宅サービス等基準第三十九条の三、第四十三条、第五十四条、第五十八条、第七十四条、第八十三条、第九十一条、第九十五条、第九十九条、第一百零九条、第一百四十一条、第一百四十二条及び第九十二条の十二において準用する場合を含む)の規定の適用については、同項中「指定訪問介護事業者は、原則として、重要事項をウェブサイトに掲載しなければならない」とあるのは「削除」と、第十一条の規定による改正後の介護老人保健施設等の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準(以下「新介護老人保健施設等基準」という。第三十一条第三項(新介護老人保健施設等基準第五十条において準用する場合を含む)の規定の適用については、同項中「介護老人保健施設は、原則として、重要事項をウェブサイトに掲載しなければならない」とあるのは「削除」と、第十三条の規定による改正後の介護老人ホームの設備及び運営に関する基準(以下「新介護老人ホーム基準」という。第二十八条第三項(新介護老人ホーム基準第三十九条、附則第十条及び附則第十七条において準用する場合を含む)の規定の適用については、同項中「介護老人ホームは、原則として、重要事項をウェブサイトに掲載しなければならない」とあるのは「削除」と、第十四条の規定による改正後の介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準(以下「新介護医療院基準」という。第三十五条第三項(新介護医療院基準第五十四条において準用する場合を含む)の規定の適用については、同項中「介護医療院は、原則として、重要事項をウェブサイトに掲載しなければならない」とあるのは「削除」とする。

七 法第十七条の三十六第四項第八号ハの介護予防サービスの種類が介護予防短期入所療養介護である場合には、次に掲げる事項

イ(二) (略)

ホ 当該介護予防サービスを行う事業所(当該事業を行う部分に限る)における入院患者又は入所者の定員(当該事業所が指定介護予防サービス等基準第八十七条第一項第四号に規定する老人性認知症疾患療養病棟を有する病院である場合にあつては、入院患者の推定数を含む)

ヘ(イ)又 (略)

ハ 法第十七条の三十六第四項第八号ハの介護予防サービスの種類が介護予防特定施設入居者生活介護である場合には、次に掲げる事項

イ(イ) (略)

又 指定介護予防サービス等基準第二百四十二条第一項に規定する協力医療機関の名称及び診療科名並びに当該協力医療機関との契約の内容(同条第二項に規定する協力歯科医療機関があるときは、その名称及び当該協力歯科医療機関との契約の内容を含む)

九・十 (略)

(身体的拘束等の適正化に係る経過措置)

第三条 この省令の施行の日から令和七年三月三十一日までの間は、新居宅サービス等基準第百二十八条第六項(新居宅サービス等基準第百四十条の十五及び第百四十条の三十二において準用する場合を含む)、第百四十条の七第八項、第百四十六条第六項、第百五十五条の六第八項、新地域密着型サービス基準第七十三条第七号及び第百七十七条第七号、新介護予防サービス等基準第百三十六条第三項(新介護予防サービス等基準第百五十九条、第百六十六条及び第百八十五条において準用する場合を含む)、第百九十一条第三項(新介護予防サービス等基準第百二十条において準用する場合を含む)、新地域密着型介護予防サービス基準第五十三条第三項の規定の適用については、これらの規定中「講じなければ」とあるのは、「講じるよう努めなければ」とする。

(利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会の設置に係る経過措置)

第四条 この省令の施行の日から令和九年三月三十一日までの間は、新居宅サービス等基準第百三十九条の二(新居宅サービス等基準第百四十条の十三、第百四十条の十五、第百四十条の三十二、第百五十五条(新居宅サービス等基準第百五十五条の十二において準用する場合を含む。))及び第百九十二条において準用する場合を含む。)、新地域密着型サービス基準第百八条、第百二十九条、第百五十七条、第百六十九条、第百八十二条において準用する場合を含む。)、新指定介護老人福祉施設基準第百四十九条、第百六十六条、第百八十五条、第百九十五条(新介護予防サービス等基準第百二十条において準用する場合を含む。))及び第百四十五条において準用する場合を含む。)、新地域密着型介護予防サービス基準第六十二条の二(新地域密着型介護予防サービス基準第八十五条において準用する場合を含む。))、新指定介護老人福祉施設基準第三十五条の三(新指定介護老人福祉施設基準第四十九条において準用する場合を含む。))、新介護老人保健施設基準第三十六条の三(新介護老人保健施設基準第五十条において準用する場合を含む。))、第十二条の規定による改正後の特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準(以下「新特別養護老人ホーム基準」という。))第三十一条の三(新特別養護老人ホーム基準第四十二条、第五十九条及び第六十三条において準用する場合を含む。))並びに新介護医療院基準第四十条の三(新介護医療院基準第五十四条において準用する場合を含む。))の規定の適用については、これらの規定中「しなれば」とあるのは、「するよう努めなければ」とする。

(口腔衛生の管理に係る経過措置)

第五条 この省令の施行の日から令和九年三月三十一日までの間は、新居宅サービス等基準第百八十五条の二及び新介護予防サービス等基準第百三十八条の二の規定の適用については、これらの規定中「行わなければ」とあるのは、「行うよう努めなければ」とする。

(協力医療機関との連携に関する経過措置)

第六条 この省令の施行の日から令和九年三月三十一日までの間は、新地域密着型サービス基準第百五十二条第一項(新地域密着型サービス基準第百六十九条において準用する場合を含む。))、第九条の規定による改正後の養護老人ホームの設備及び運営に関する基準第二十五条第一項、新指定介護老人福祉施設基準第二十八条第一項(新指定介護老人福祉施設基準第四十九条において準用する場合を含む。))、新介護老人保健施設基準第三十条第一項(新介護老人保健施設基準第五十条において準用する場合を含む。))、新特別養護老人ホーム基準第四十二条、第五十九条及び第六十三条において準用する場合を含む。))及び新介護医療院基準第三十四条第一項(新介護医療院基準第五十四条において準用する場合を含む。))の規定の適用については、これらの規定中「定めておかなければ」とあるのは、「定めておくよう努めなければ」とする。

(指定居宅サービス事業者に関する経過措置)

第七条 第十六条の規定の施行の際現に介護保険法(以下「法」という。))第九十四条第一項又は第百七条第一項の規定による許可を受けている介護老人保健施設又は介護医療院の開設者(訪問リハビリテーションに係る法第四十一条第一項本文の指定を受けているものを除く。))については、第十六条の規定の施行の日、当該介護老人保健施設又は介護医療院により行われる訪問リハビリテーションに係る法第四十一条第一項本文の指定があつたものとみなす。ただし、当該介護老人保健施設若しくは介護医療院の開設者が第十六条の規定の施行の日以前までに、次の事項を記載した申出書を当該申出に係る介護老人保健施設若しくは介護医療院の開設の場所を管轄する都道府県知事に提出して行う別段の申出を行ったときは、その指定の時に法第七十七条第一項、第百十五条の三十五第六項若しくは第百十五条の四十四の二第八項の規定により法第四十一条第一項本文の指定を取り消されているときは、この限りではない。

一 当該申出に係る介護老人保健施設又は介護医療院の名称及び開設の場所並びに開設者及び管理者の氏名及び住所

二 当該申出に係る居宅サービスの種類

三 前号に係る居宅サービスについて指定居宅サービス事業者とみなされる者に係る法第四十一条第一項本文の指定を不要とする旨

2 前項の規定により指定居宅サービス事業者とみなされた者に係る法第四十一条第一項本文の指定は、当該指定に係る介護老人保健施設又は介護医療院について、法第九十四条の二第一項若しくは第百八条第一項の規定により許可の効力が失われたとき又は法第百四十四条第一項、第百四十四条の六第一項、第百四十五条の三十五第六項若しくは第百四十五条の四十四の二第八項の規定により許可の取消があつたときは、その効力を失う。

3 第十六条の規定の施行の際現に法第九十四条第一項又は第百七条第一項の規定による許可を受けている介護老人保健施設又は介護医療院の開設者(訪問リハビリテーションに係る法第四十一条第一項本文の指定を受けているものに限る。))については、前二項の規定を準用する。この場合において、第二項の規定中「第十六条の規定の施行の際現に」とあるのは、「第十六条の規定の施行の日以降の訪問リハビリテーションに係る法第七十条の二第二項に規定する指定の有効期間の満了の日に現に」と、第十六条の規定の施行の日」とあるのは、「訪問リハビリテーションに係る法第七十条の二第二項に規定する指定の有効期間の満了の日の翌日」と、「第十六条の規定の施行の前日」とあるのは、「訪問リハビリテーションに係る法第七十条の二第二項に規定する指定の有効期間の満了の日」と読み替えるものとする。

4 第十六条の規定の施行の際現に法第九十四条第一項又は第百七条第一項の規定による許可を受けている介護老人保健施設又は介護医療院の開設者については、介護予防訪問リハビリテーションに係る法第百十五条の十一の規定により準用される法第七十二条第一項の規定による法第五十三条第一項本文の指定について、前三項の規定を準用する。この場合において、「居宅サービス」とあるのは、「介護予防サービス」と、「法第七十七条第一項」とあるのは、「法第百十五条の九第一項」と読み替えるものとする。